



細川 弘美

桜や雪灯りイベントで観光開発を

桜で百万人観光を

質問

湯沢町全体を公園と考え、ソメイヨシノより花の咲く時期の遅い「湯沢の木・紅山桜」を中心に、また布場から湯沢高原には「山桜」による、桜の咲く時期に合わせた誘客政策を行うこと



春の誘客に桜を生かせ(布場から湯沢高原方面)

一

般

質

問

により、4月期で百万人観光が可能と思うが町長の考えを伺います。

町長答弁

全山桜になれば景観がすばらしいのは分かるが、豪雪地帯で実現するには至難の技である。誰がやって、誰が管理するのが問題である。

質問

高田公園では昨年より9万8千人多い86万人だそうです。

湯沢高原の経営改善には繋がるのではないか。湯沢から三俣、二居、浅貝までとしたら高低差があり期間を長く設定出来る。昼はスキー、夜は夜桜見物を設定することにより、旅館は宿泊客でいっぱいになり、さらに民宿にも波及効果が現れる。温泉と桜の湯沢町としてクローズアップさせることが大切である。お客様が湯沢に行こうとする動機

づけを作らなければ、いくら宣伝しようが、もてなしがよかろうと湯沢には来ないのではないかと。

春の桜で百万人観光を時間がかかっても観光政策として、将来の湯沢町の為に今からでも手がける価値があるのではないかと。

町長答弁

お金がかかる割には、根付かないと思うので滝ノ沢一帯への植樹はしない。湯沢の夜桜は寒い。地域に呼びかけて「紅山桜」を植えてもらうよう啓蒙する。

雪灯りイベントで百万人観光を

質問

スキー産業が衰退する中、スキー場に頼った誘客だけでなく、町独自のスキーをしない純粹の観光客を呼べる政策が必要と考える。冬でも遊びに来る、来て頂ける物が必要である。



今年第2回を迎え好評の雪灯りコンテスト

陸上競技場、テニスコート、野球場、ノリタ跡地を、一大雪灯り会場とすることにより、宿泊客を伸ばす事が出来るのではないかと。

札幌の雪祭りも55回という歴史があつてのことではあるが、7日間で21万人の誘客がある。

行政報告でもスキー場で56万人が減っているが、冬季観光客の減少に歯止めをかける政策が必要と思うが、町長の考えを伺います。

町長答弁

行政が全て何でもやる時代は終わった。雪灯りコンテストも規模的にはインパクトに欠けるが、町民が頑張ってくれている。新しいイベントとして大きく花を咲かせたい。